

# **PIT-Configurator for AMT**

## **ユーザーズマニュアル**

(Ver. 4.0)

2020 年 1 月 14 日

NEC キャピタルソリューション株式会社

## 更新履歴

版数	日付	更新内容
1.0	2016/04/1	初版作成
1.1	2020/01/14	マイクロソフト社の Windows 7 の OS サポート終了に伴い、本製品のサポート OS により Windows 7 を削除。

## 目次

<b>1</b>	<b>インテル® AMT について.....</b>	<b>4</b>
<b>2</b>	<b>インテル® AMT のプロビジョニング（初期設定）における課題.....</b>	<b>4</b>
2.1	設定画面である MEBx（ME Bios extension : ME 拡張 BIOS）に入るのが難しい .....	4
2.2	ME やインテル® AMT の設定メニューが深い階層構造になっていて複雑である .....	4
2.3	すべてが手作業による構成なので入力ミスや設定漏れの可能性がある .....	5
2.4	設定入力画面が拡張 BIOS である.....	5
<b>3</b>	<b>PIT-Configurator for AMT について.....</b>	<b>5</b>
3.1	ご用意いただくもの.....	5
3.2	準備作業.....	6
<b>4</b>	<b>PIT-Configurator for AMT 操作手順.....</b>	<b>7</b>
4.1	ライセンスキーの登録.....	7
4.2	プロビジョニング手順(基本設定) .....	7
4.3	固定パラメーター変更手順（MEBx パスワード、ドメイン名等） .....	13
4.4	AMT 設定内容の確認・変更・拡張設定.....	16
4.5	無線プロファイルの作成・適用.....	19
4.6	固定 IP アドレスの同期.....	22
4.7	AMT 設定の確認・変更(リモート).....	23
<b>5</b>	<b>PIT-Configurator for AMT に関するお問い合わせ.....</b>	<b>25</b>

## 1 インテル® AMT について

インテル vPro® プラットフォームに対応した PC にはインテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー (インテル® AMT) と呼ばれる PC の運用管理、セキュリティ対策をハードウェアで支援する技術が搭載されています。この技術を活用することによって、従来ソフトウェアのみで行っていた PC のリモート管理、セキュリティ対策を強化しながら省力化することが可能になります。

インテル® AMT ではチップセットに搭載されたマネジメント・エンジン (ME) という専用のプロセッサが CPU とは独立して動作する事で、PC の電源状態や OS の状態に関係なく管理を行います。つまり、従来、ソフトウェア・ベースの手法では不可能だった「電源の入っていない PC」や「OS が正常動作していない PC」に対しても、リモートで電源の ON/OFF やリセットを実施し、PC を「リモート管理できる状態」に復帰させることが可能です。そのため管理者がわざわざ現場へ行って操作する手間や時間、コストを削減する事が出来るのです。

## 2 インテル® AMT のプロビジョニング (初期設定) における課題

インテル® AMT を使って管理ソフトウェアから管理を行うにあたっては、この ME に対してさまざまな設定を行い、インテル® AMT の機能を有効化する必要があります。この事をプロビジョニング (初期設定) と呼びます。プロビジョニングを行う方法として、比較的小規模での導入に向いているマニュアル・コンフィグレーションから、大規模な展開で利用されるリモート・コンフィグレーションまで、導入規模や技術要件により様々な設定方法がインテルによって用意されています。

既に稼働している企業ネットワークにインテル vPro® プラットフォームに対応した PC を追加する場合には、リモート・コンフィグレーションで必要となる管理用サーバーの追加が困難であったり、固定 IP がサポートされていなかったりと言った理由から、より手軽に利用できるマニュアル・コンフィグレーションが採用されるケースが多いようです。しかし、このモードを採用した場合の初期設定は、設定台数が多くなると様々な留意点が生じます。

例えば以下に挙げる様な課題が報告されています。

### 2.1 設定画面である MEBx (ME Bios extension : ME 拡張 BIOS) に入るのが難しい

- MEBx に入るためのホットキー (Ctrl + P) を押すタイミングは機種によって違いがあり、戸惑っているとすぐに OS のブートシーケンスに移ってしまう
- インテル vPro® プラットフォーム対応 PC であっても、機種によっては BIOS のデフォルト設定で MEBx が無効になっている場合がある

### 2.2 ME やインテル® AMT の設定メニューが深い階層構造になっていて複雑である

- 通常変更を必要としない設定のメニューも表示されている
- インテル® AMT のバージョンによってメニューの内容や表現が異なる

### 2.3 すべての手作業による構成なので入力ミスや設定漏れの可能性がある

- 実際に構成作業を行う担当者すべてがインテル® AMT 設定の経験者ではなく、手順書を作成してもその通りに作業されなかった
- ホスト名や IP アドレスなどが OS 上で設定された内容と、ME 側に設定された内容とで異なり、管理できなくなってしまう

### 2.4 設定入力画面が拡張 BIOS である

- 拡張 BIOS においては常に英語キーボードのレイアウトが使用される。例えばインテル® AMT のパスワードは「ストロング・パスワード」<sup>※</sup>でなければならないが、「記号」の位置が日本語キーボードの印字と、実際に MEBx で反映される英語キーボードのレイアウトとの間で異なっているため、入力間違いが生じやすい
- パスワードを「P@ssw0rd」と設定したつもりが「P[ssw0rd」と設定されてしまい、管理不能になってしまった

(注: アルファベットの大文字、小文字、数字、記号すべてが含まれた複雑なパスワード)

## 3 PIT-Configurator for AMT について

当社ではこれまでの経験をもとに、より簡単でより正確なプロビジョニング作業を行うためのツールを開発しました。本ツールを USB メモリーに入れ、OS 上で一度実行し再起動を行う事で MEBx での煩雑な作業を行うことなく、インテル® AMT のプロビジョニング作業を完了する事が可能です。さらに手動では2段階で設定を行う必要のある無線 LAN アクセスポイントの設定にも対応しており、無線 LAN 経由でもリモートから電源をコントロールできるインテル vPro® プラットフォームの強力な機能を利用したいお客様にも簡単にご活用いただけます。

### 3.1 ご用意いただくもの

- (1) インテル® Core™ vPro™ プロセッサ・ファミリー（インテル® AMT リリース 6.1 以降）に対応したクライアント PC で、以下の条件を満たす必要があります。

- OS : Windows 8.1 / 10 (32bit/64bit)
- ネットワークやホスト名/ドメイン名の設定が済んでいる
- Microsoft .NET Framework 4.5 以降がインストールされている
- インテル® AMT 関連のドライバー一式（MEI ドライバー, LMS/UNS サービス）がインストールされている

※ インテル® AMT のバージョンによってサポートされる Windows のバージョンが別途規定されています。本製品のサポートもそちらの規定に準じます。

- (2) USB メモリー

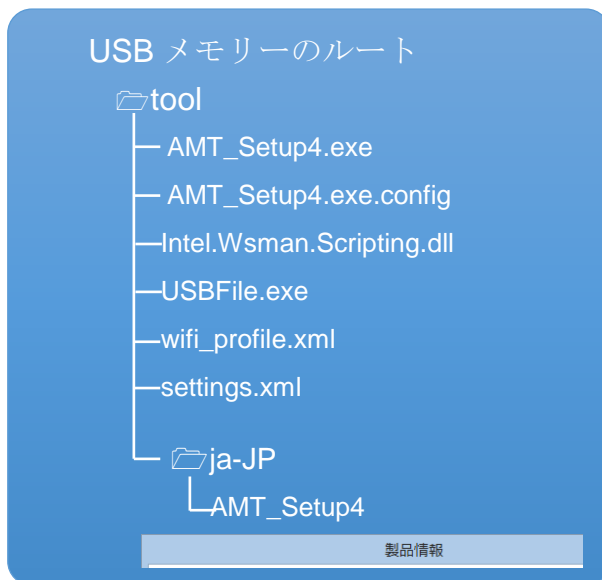
- 容量が 2GB 以下のもの（FAT でフォーマットするため 4GB 未満の物を推奨）

- リムーバブルディスクとして認識されるもの
- **FAT/FAT32** でフォーマット済みのもの（**NTFS** では利用不可）
  - ※ 一部のインテル vPro® プラットフォーム対応 PC では、**FAT32** でフォーマットされた **USB メモリー** でも動作する場合があります。この場合、**2GB** より大きな容量を持つ **USB メモリー** を使用することが可能です。ただし、すべての機種で動作するとは限りませんので、事前に動作確認を行ってください。

### 3.2 準備作業

フォーマット済みの **USB メモリー** に、展開した本ツール一式を **tool** フォルダーごとコピーします。

ディレクトリ構造は以下の通りです。



## 4 PIT-Configurator for AMT 操作手順

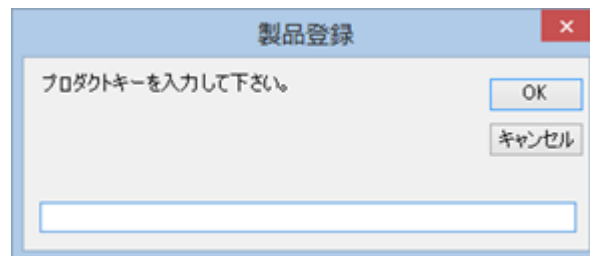
### 4.1 ライセンスキーの登録

本製品を継続してご利用いただくには、ライセンスキーを登録する必要があります。(ライセンスキーのご登録がない場合でも、試用版として5台までのPCを設定することが可能です。)

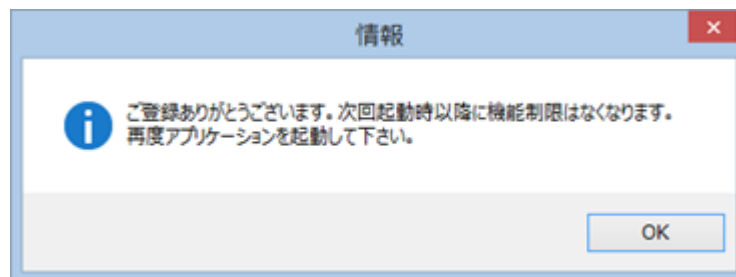
- (1) USB メモリーに展開された AMT\_Setup4.exe をダブルクリックし、PIT-Configurator for AMT を起動します。
- (2) メニューの [ヘルプ(H)] → [バージョン情報 (A)] とたどり、バージョン情報を表示します。



- (3) [登録する] ボタンを押して表示されるダイアログで弊社よりご案内したライセンスキーを入力し、[OK] ボタンを押します。



- (4) 正しいライセンスキーが入力されると以下のような画面が表示され登録されます。次回起動時以降は機能制限無しでご利用いただくことが可能になります。



### 4.2 プロビジョニング手順(基本設定)

- (1) 設定対象のクライアント PC を有線 LAN に接続します。接続しなくても設定は可能ですが、一部の項目を手動で入力する必要があります。

- (2) USB メモリーに展開された AMT\_Setup4.exe をダブルクリックし、PIT-Configurator for AMT を起動します。Windows 7 以降の OS ではユーザーアカウント制御による警告が発生することがありますが、[はい] を押して続行します。

#### < ツール起動画面 (DHCP の場合) >

The screenshot shows the PIT-Configurator for Intel® AMT application window. The 'OSの情報' (OS Information) section on the left has 'ThinkPad-T530' for the computer name, 'DHCPを使用する' (Use DHCP) checked, and '自動取得' (Automatic) for IP address, subnet mask, default gateway, and DNS servers. The 'DNS サフィックス' (DNS Suffix) is set to 'vpro-lab.vpro-amt.com'. The 'プロセッサ/LANアダプター' (Processor/LAN Adapter) section shows 'Intel(R) Core(TM) i7-3840QM CPU @ 2.80GHz', 'MEI Driver' (version 11.0.0.1155), and 'LMS' (version 11.0.0.1156). The 'インテル® MEの情報' (Intel® ME Information) section on the right shows BIOS version 'G4ETA5WW (2.65)', ME FW version '8.1.55.1506', management mode 'Intel® vPro™', platform 'Mobile', and provisioning status '未構成' (Not configured). The 'プロビジョニング設定' (Provisioning Settings) section shows 'MEBx パスワード' (MEBx Password) as a redacted field, 'MEの電源ポリシー' (ME Power Policy) as 'Mobile: ON in S0; ME WoL in S3/AC, S4-S/AC', and 'Idle Timeout' as '30 分'. There are checkboxes for 'MEBxの初期パスワードに右記の物を指定する' (Specify the following as the initial MEBx password) with 'admin' entered, and 'リモートKVM機能のOpt-inを有効にする' (Enable Opt-in for remote KVM functionality). A '接続' (Connect) button is at the top right, and a 'プロビジョニング開始' (Start Provisioning) button is at the bottom right.

#### < ツール起動画面 (固定 IP アドレスの場合) >

The screenshot shows the PIT-Configurator for Intel® AMT application window with the 'DHCPを使用する' (Use DHCP) checkbox unchecked. The 'OSの情報' (OS Information) section on the left has 'ThinkPad-T530' for the computer name, and the following fixed values: IP address '192.168.24.200', subnet mask '255.255.255.0', default gateway '192.168.24.5', priority DNS server '192.168.24.10', alternate DNS server '192.168.23.10', and DNS suffix 'vpro-lab.vpro-amt.com'. The 'プロセッサ/LANアダプター' (Processor/LAN Adapter) section shows the same hardware information as the previous screenshot. The 'インテル® MEの情報' (Intel® ME Information) section on the right shows the same ME information. The 'プロビジョニング設定' (Provisioning Settings) section shows the same settings as the previous screenshot, including the redacted MEBx password, power policy, idle timeout, and checkboxes for MEBx password specification and remote KVM functionality. The '接続' (Connect) button is at the top right, and the 'プロビジョニング開始' (Start Provisioning) button is at the bottom right.



- ※ プロビジョニングに必要な情報の多くは、OS や ME から取得しているため、ここで必要になる作業は基本的に「MEBx パスワード」と書いてある部分への入力のみとなります。このパスワードは MEBx に入る為のパスワード並びに管理用アカウント admin のパスワードの両方を意味します。
- ※ パスワードは 8 文字以上 64 文字以下で大文字、小文字、数字、記号が全て含まれている必要があります。テキストボックスがオレンジ色になっている場合、入力内容が正しくありませんので、正しい値を入力してください。
- ※ その他の項目につきましては特別な理由がない限り変更する必要はありません。

<ツール起動画面の表示項目について>

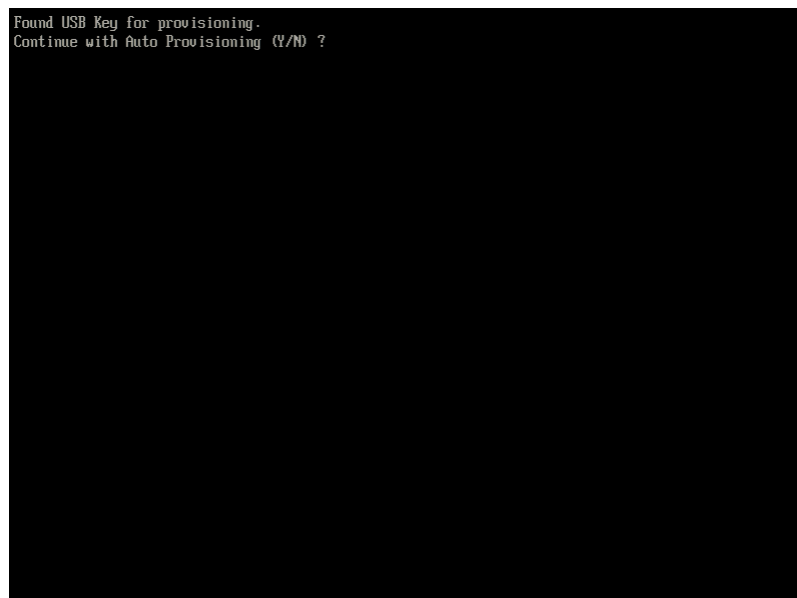
No	表示項目	表示項目の解説
1	ME Power Package	システムがどの状態の時に ME を動作させるかのポリシーを選択します。
2	Idle Timeout	待機時の消費電力をより低減させるために ME を省電力モードへ移行させるまでの時間を表します。
3	MEBx の初期パスワードに右記の物を指定する	工場出荷時の初期パスワードが admin でない場合やパスワードだけを変更した場合にそのパスワードを指定します。
4	リモート KVM 機能の Opt-in を有効にする	リモート KVM のセッション開始時にクライアント PC 上に表示されるワンタイムパスワードを管理コンソール側に入力しないと KVM の操作が行えません。

- (3) MEBx パスワードを入力し、[プロビジョニング開始] ボタンをクリックします。

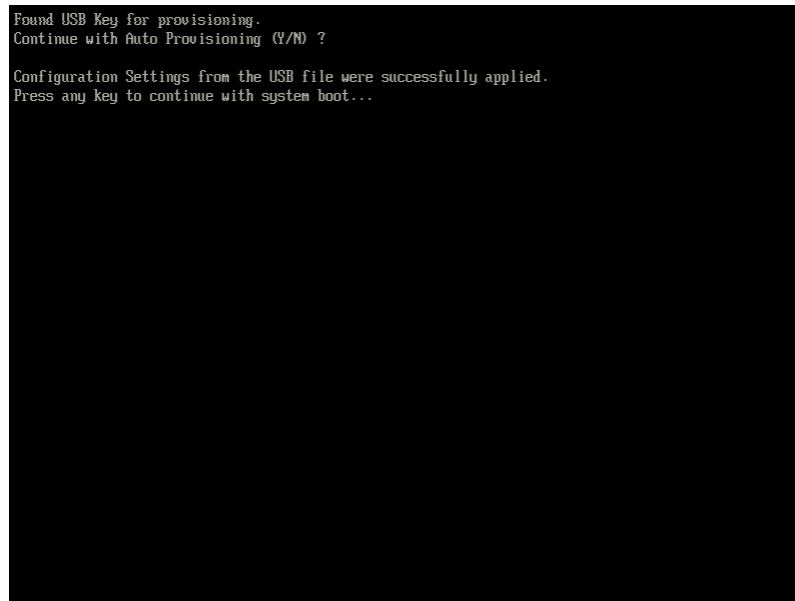
- (4) USB メモリーのルート直下に「**setup.bin**」ファイルが生成されます。別のアプリケーションで編集集中のファイル等がある場合は保存した上で、**【はい】** ボタンをクリックします。



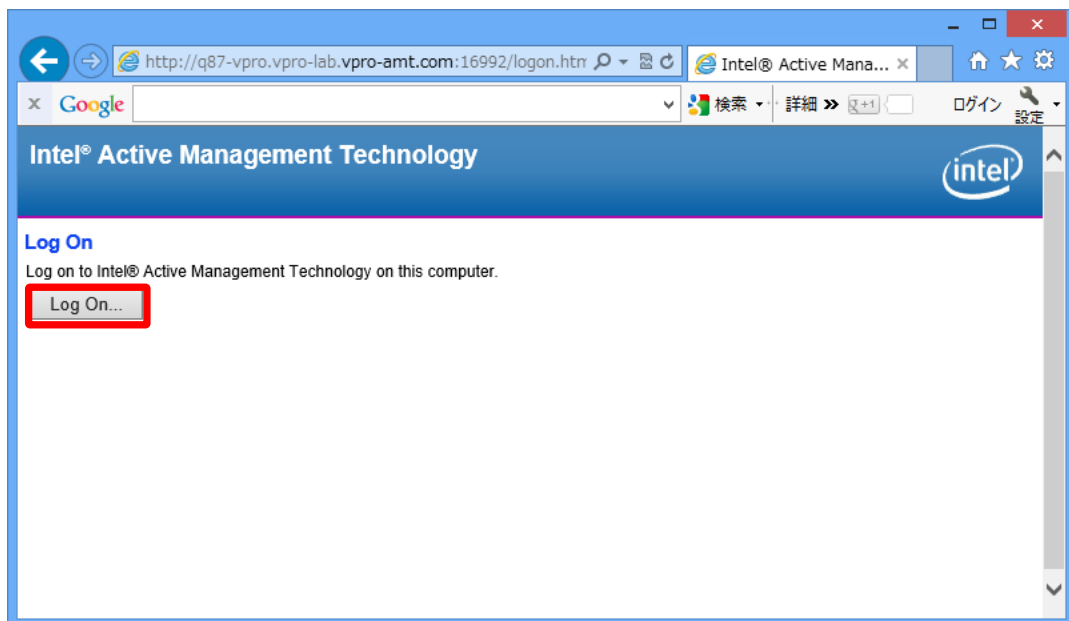
- (5) OS が再起動された後、下図のような黒い画面が表示されるので、**【Y】** キーを押します。



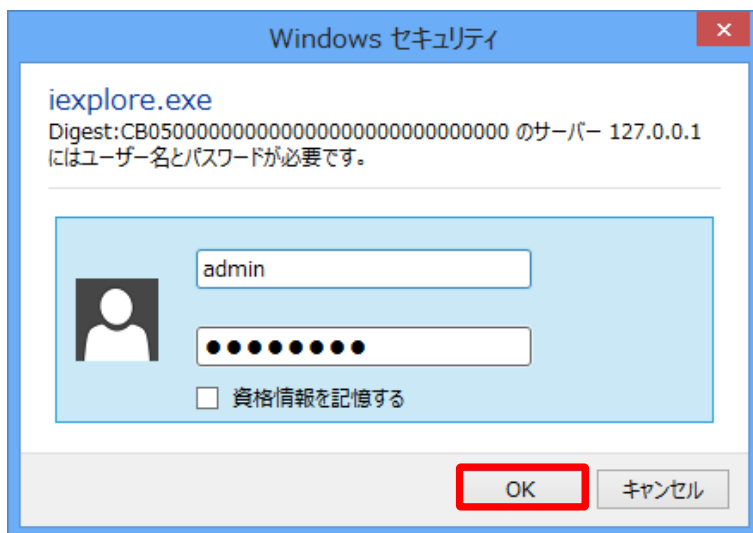
- (6) USB プロビジョニングが完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。任意のキーを入力すると、OS が起動します。



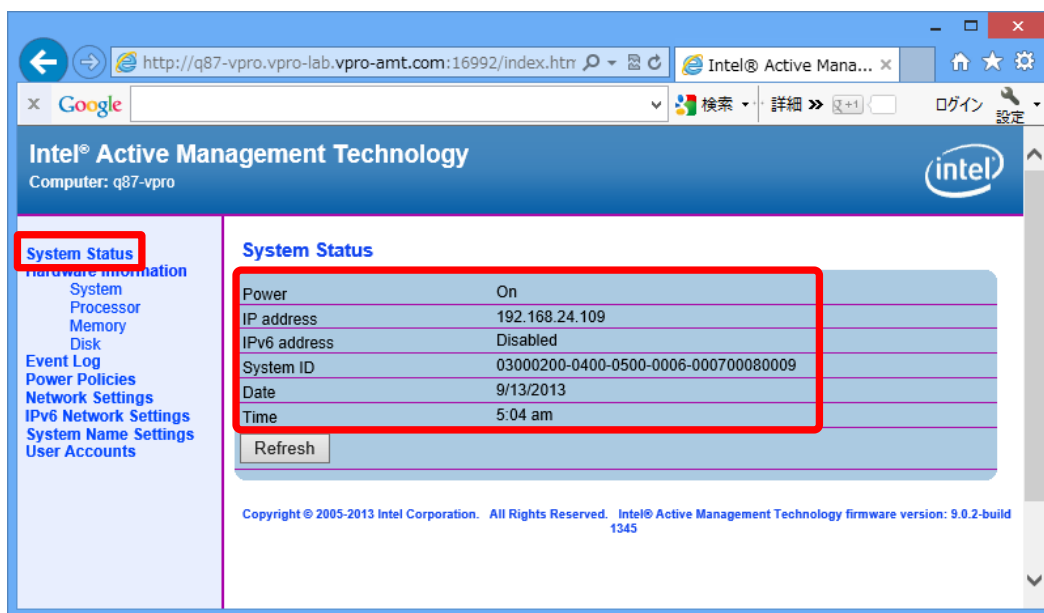
- (7) OS 起動後、プロビジョニングが正しく設定されたか確認します。Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http:// (クライアント PC の FQDN 又は IP アドレス:16992/)」 と入力します。以下のような画面が表示されますので、[Log On] ボタンをクリックします。



- (8) 認証画面が表示されますので、ユーザー名に「admin」、パスワードに MEBx パスワードで指定したパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- (9) 下図のような画面が表示されます。左ペインの「System Status」メニューをクリックすると、IP address 等が表示されますので、設定が正しいか確認してください。



#### 4.3 固定パラメーター変更手順（MEBx パスワード、ドメイン名等）

- (1) 本ツールを用いて、多くの台数の PC をプロビジョニングする場合、毎回パスワードやドメイン名を入力することが面倒です。事前にパラメーターを変更することができます。
- まず、本ツールに含まれている「AMT\_Setup4.exe.config」をテキストエディタで開きます。



- (2) pass、idletimeout、domainname というキーの値（value）にそれぞれ、MEBx パスワード、アイドルタイムアウト、ドメイン名を入力し、内容を保存します。



- (3) AMT\_Setup4.exe をダブルクリックして起動すると、さきほど保存したパラメーター値が、MEBx パスワード、アイドルタイムアウト、ドメイン名の各テキストフィールドに入力された状態で起動されます。



#### 4.4 AMT 設定内容の確認・変更・拡張設定

- (1) 前章のプロビジョニング手順を実行した後、再び **AMT\_Setup4.exe** をダブルクリックして本ツールを起動します。プロビジョニング時とは表示内容が異なります。

The screenshot shows the PIT-Configurator for Intel® AMT application window. The window is titled "PIT-Configurator for Intel® AMT". It contains several sections for configuring network and system settings.

- Intel® MEのネットワーク設定 (Intel® ME Network Settings):** This section on the left contains fields for computer name, IP address, subnet mask, default gateway, and DNS servers. All fields are marked as "未取得" (Not Retrieved). There are checkboxes for "DHCPを使用する" (Use DHCP) and "固定IP使用時にOSとMEのIPアドレスを同期する" (Synchronize OS and ME IP addresses when using fixed IP).
- Intel® MEの情報 (Intel® ME Information):** This section on the right displays system information: BIOSバージョン (G4ETA5WW (2.65)), ME FWバージョン (8.1.55.1506), 管理モード (Intel® vPro™), プラットフォーム (Mobile), and プロビジョニングの状態 (構成済 (Admin Control Mode)). It also shows an Idle Timeout of 65535 minutes and checkboxes for "無線LAN経由でAMTを使用する" and "OSの無線LAN設定をMEに同期させる". There is a button labeled "無線LANプロファイルの編集".
- プロセッサ/サービスの情報 (Processor/Service Information):** This section at the bottom left shows system details: Intel(R) Core(TM) i7-3840QM CPU @ 2.80GHz, MEI Driver (動作中 (バージョン:11.0.0.1155)), and LMS (動作中 (バージョン:11.0.0.1156)).
- ダイナミックDNS (Dynamic DNS):** This section at the bottom center has a checkbox for "更新を有効にする" (Enable updates), an update interval of 1440 minutes, and a TTL of 900 seconds.
- アカウント情報 (Account Information):** This section at the bottom right shows the AMT管理アカウント (admin) and a password field. There is a button labeled "設定情報を取得" (Get setting information).

Buttons for "接続" (Connect) and "設定変更を反映" (Reflect setting change) are also visible.

- (2) 画面右下のパスワードフィールドに **MEBx** パスワードを入力し、[設定情報を取得] ボタンをクリックします。現在の **AMT** 設定内容が表示されます。



PIT-Configurator for Intel® AMT

ファイル(F) ヘルプ(H)

☐ 他のPCの設定の確認、変更を行う    ターゲットのFQDNまたはIPアドレス     接続

インテル® MEのネットワーク設定

コンピュータ名

☒ DHCPを使用する

IP アドレス

サブネット マスク

デフォルト ゲートウェイ

優先DNS サーバー

代替DNS サーバー

DNS サフィックス

☐ 固定IP使用時にOSとMEのIPアドレスを同期する

インテル® MEの情報

BIOS バージョン G4ETA5WW (2.65 )

ME FW バージョン 8.1.55.1506

管理モード Intel® vPro™

プラットフォーム Mobile

プロビジョニングの状態 構成済 (Admin Control Mode)

Idle Timeout  分

☐ 無線LAN経由でAMTを使用する    無線LANプロファイルの編集

☐ OSの無線LAN設定をMEに同期させる

プロセッサ/サービスの情報

Intel(R) Core(TM) i7-3840QM CPU @ 2.80GHz

MEI Driver 動作中 (バージョン:11.0.0.1155)

LMS 動作中 (バージョン:11.0.0.1156)

ダイナミックDNS

☐ 更新を有効にする

更新間隔  分

TTL  秒

アカウント情報

AMT管理アカウント

パスワード

- (3) 変更したい値をテキストフィールドに入力し、[設定変更を反映] ボタンをクリックします。

ファイル(F) ヘルプ(H)

☐ 他のPCの設定の確認、変更を行う    ターゲットのFQDNまたはIPアドレス    接続

インテル® MEのネットワーク設定

コンピュータ名    ThinkPad-T530

☒ DHCPを使用する

IP アドレス    自動取得

サブネット マスク    自動取得

デフォルト ゲートウェイ    自動取得

優先DNS サーバー    自動取得

代替DNS サーバー    自動取得

DNS サフィックス    vpro-lab.vpro-amt.com

☐ 固定IP使用時にOSとMEのIPアドレスを同期する

インテル® MEの情報

BIOS バージョン    G4ETA5WW (2.65 )

ME FW バージョン    8.1.55.1506

管理モード    Intel® vPro™

プラットフォーム    Mobile

プロビジョニングの状態    構成済 (Admin Control Mode)

Idle Timeout    10 分

☐ 無線LAN経由でAMTを使用する    無線LANプロファイルの編集

☐ OSの無線LAN設定をMEに同期させる

プロセッサ/サービスの情報

Intel(R) Core(TM) i7-3840QM CPU @ 2.80GHz

MEI Driver    動作中 (バージョン:11.0.0.1155)

LMS    動作中 (バージョン:11.0.0.1156)

ダイナミックDNS

☐ 更新を有効にする

更新間隔    1440 分

TTL    900 秒

アカウント情報

AMT管理アカウント    admin

パスワード    Pa\$\$w0rd

設定情報を取得

設定変更を反映

- (4) 質問ダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし、AMT 設定内容を変更します。

質問

AMTの設定を更新します。すべての設定は上書きされますがよろしいですか?

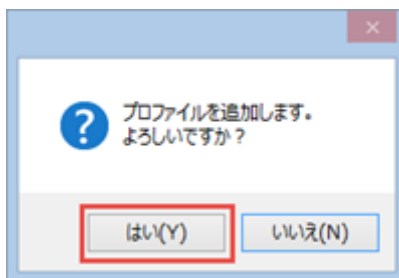
OK    キャンセル

#### 4.5 無線プロファイルの作成・適用

- (1) 画面中央にある [無線 LAN プロファイルの編集] ボタンをクリックします。無線 LAN プロファイルダイアログが表示されます。続けて、プロファイル名・SSID・ネットワーク認証・暗号化方式・パスフレーズを入力し、[追加] ボタンをクリックします。



- (2) 確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックすると入力された内容がプロファイルとして追加されます。



- (3) 追加したプロファイルを選択し、[↑][↓]ボタンをクリックする事で接続の優先順位を変更する事が可能です。必要な分だけプロファイルを作成した後、[閉じる] ボタンをクリックしてメイン画面に戻ります。

- (4) 「無線 LAN 経由で AMT を使用する」 のチェックボックスにチェックを入れ、[設定変更を反映]ボタンをクリックし、AMT 設定内容を更新します。



※ このチェックボックスはクライアント PC にインテル® AMT に対応した無線 LAN モジュールが搭載されている場合のみ有効になります。無線 LAN モジュールが搭載されていない場合や、インテル® AMT 非対応の無線 LAN モジュールが搭載されている場合は有効になりません。

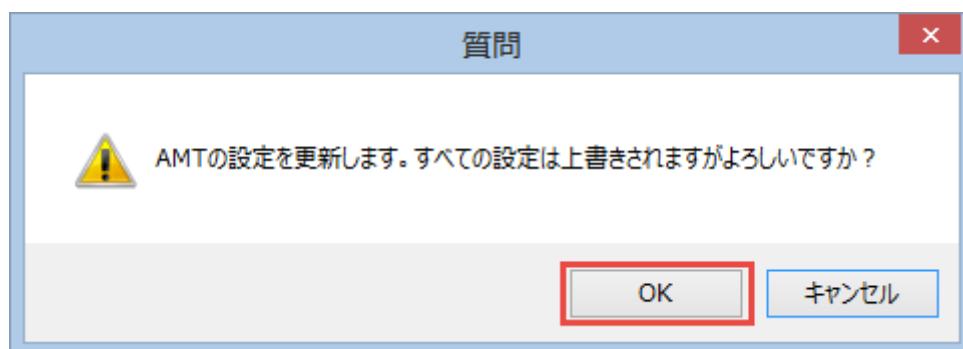
※ オプションとして「OS の無線 LAN 設定を ME に同期させる」というチェックボックスがあります。これを有効にするとプロファイルに無い無線 LAN に接続した際に以下のようなポップアップ画面が表示されます。



「はい(Y)」を押すと、接続中のネットワークの設定が ME にセットされ、このネットワーク経由でも AMT の操作が可能になります。

- (5) 質問ダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし、インテル® AMT の設

定内容を変更します。



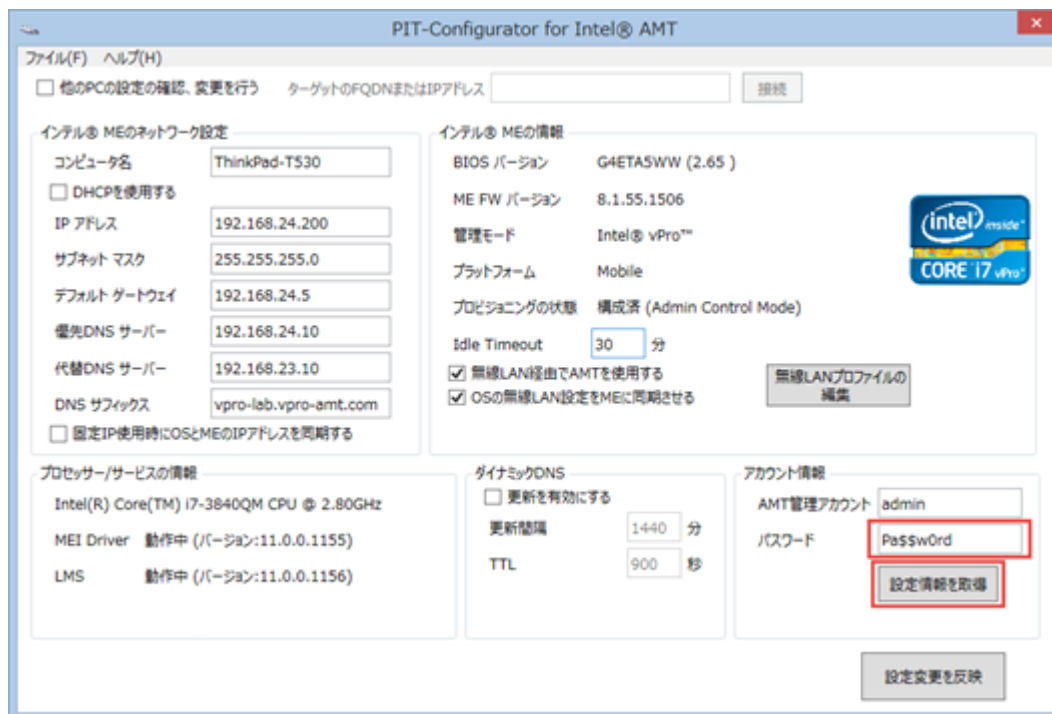
(6) 以降、無線 LAN 経由でもインテル® AMT が利用できるようになります。

#### 4.6 固定 IP アドレスの同期

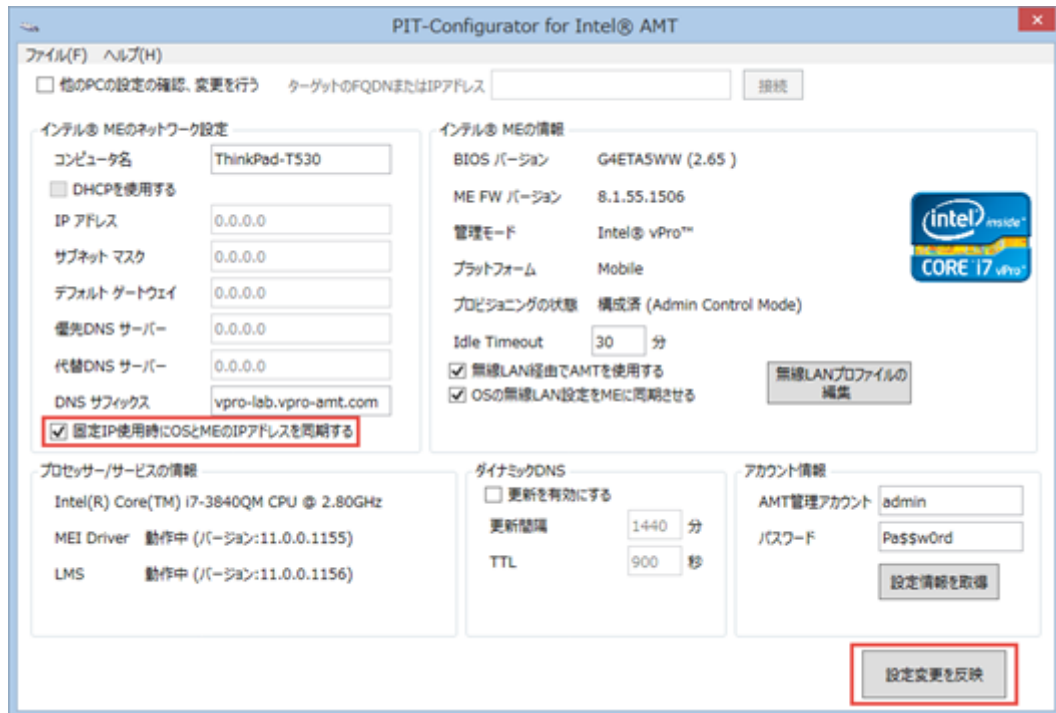
インテル® AMT 7.0 以降のバージョンで固定 IP アドレスを利用している場合、インテル® AMT で設定している IP アドレスと OS で設定している IP アドレスを自動的に同期させることができます。

- (1) まず、OS 及びインテル® AMT 設定が固定 IP アドレス設定になっていることを確認します。

PIT-Configurator for AMT を起動し、画面右下のパスワードフィールドに MEBx パスワードを入力後、[設定情報を取得] ボタンをクリックします。現在のインテル® AMT 設定内容が表示されます。固定 IP の場合は有線 LAN に接続しておかないと設定が取得できません。



- (2) 固定 IP が設定されていると「固定 IP 使用時に OS と ME の IP アドレスを同期」のチェックが有効になりますので、チェックを入れて [設定変更を反映] ボタンをクリックします。チェックを入れると IP アドレス等がすべて 0.0.0.0 と表示されますが、正常な動作です。



- (3) 質問ダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし、インテル® AMT 設定内容を変更します。



- (4) 以後、OS 上の IP アドレスを変更した場合、自動的にインテル® AMT の IP アドレスも変更されるようになります。

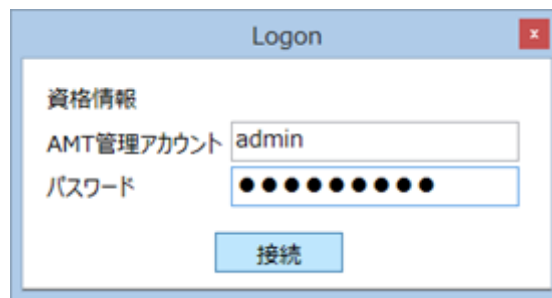
#### 4.7 AMT 設定の確認・変更(リモート)

AMT のプロビジョニングを行い、ユーザーへ展開した後に設定内容の確認や変更を行いたい場合があるかもしれません。本ツールの Ver.4.0 からはリモートで行えるようになりました。

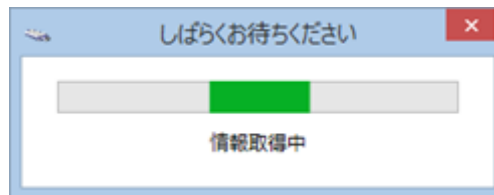
- (1) 本ツールを起動し、「他の PC の設定の確認・変更を行う」をチェックし、対象となる PC の FQDN または IP アドレスを入力します。FQDN を入力する場合は名前解決する必要があります。



- (2) AMT の資格情報を入力し、[接続]ボタンを押します。



- (3) 情報の取得はリモートで行う分、他のモードより時間が掛かります。特に対象となる PC の電源が落ちている場合はリンク速度が 10Mbps となっているため余計時間が掛かります。





(4) 取得したシステム情報や AMT の設定が表示されます。他のモード同様変更が行えます。

ファイル(F) ヘルプ(H)

☒ 他のPCの設定の確認、変更を行う    ターゲットのFQDNまたはIPアドレス     接続

**Intel® ME の設定**

コンピュータ名

**有線LAN設定**

☒ DHCPを使用する

IP アドレス

サブネット マスク

デフォルト ゲートウェイ

優先DNS サーバー

代替DNS サーバー

DNS サフィックス

☐ 固定IP使用時にOSとMEのIPアドレスを同期する

**無線LAN設定**

☐ 無線LAN経由でAMTを使用する    無線LANプロファイルの編集

☐ OSの無線LAN設定をMEに同期させる

**電源設定**

MEの電源ポリシー

Idle Timeout  分

**ダイナミックDNS**

☒ 更新を有効にする

更新間隔  分    TTL  秒

**システムの情報**

モデル名 10A5CT01WW

メーカー名 LENOVO

シリアル番号 PB000J97

システムUUID ea77abd8-08f4-11e3-a08e-c7b7647b0b00

プロセッサ Intel(R) Core(TM) i7-4765T CPU @ 2.00GHz

メモリー容量 16 GB ( 17179869184 Bytes)

**システムBIOS情報**

バージョン FBKTC1AUS

ベンダー LENOVO

リリース日 2016/03/01

**Intel® ME の情報**

ME FW バージョン 9.0.2

管理モード Intel® vPro™

プラットフォーム Desktop

有線LAN MACアドレス 00-23-24-55-6c-36    リンク Up

無線LAN MACアドレス b4-b6-76-b4-f3-70    リンク Down

設定変更を反映

## 5 PIT-Configurator for AMT に関するお問い合わせ

PIT-Configurator for AMT をご利用になる上でのご質問、不具合のご連絡は、本製品をお買い求めになりました販売代理店様、システムインテグレーター様へお願い申し上げます。

本文書の内容を、営利・非営利を問わず無断で利用することを禁じます。

すべての著作権は NEC キャピタルソリューション株式会社に帰属します。

Copyright © 2020 NEC Capital Solutions Limited, All rights reserved.